

## 新型コロナウイルス（SARS-CoV2）不活化試験報告（概要）

2020/12/17

エコシンフォニー株式会社

代表取締役 南沢茂

除菌剤ビエリモ（100 ppm）によるコロナウイルス不活化試験（抗ウイルス性試験）を一般社団法人日本繊維製品品質技術センターにて実施。

### 試験内容

コロナウイルス混濁液（宿主細胞含む）1に対し試験比較対象とするPBS（リン酸緩衝生理食塩水）と除菌剤ビエリモを各9の割合で混合し20秒後に感染した細胞数をプラーク法にて測定。

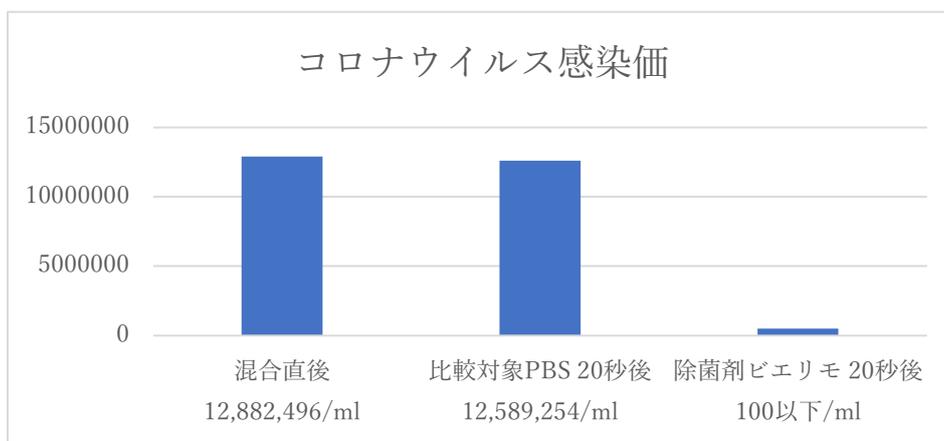
### 結果

#### 試験1

コロナウイルス混濁液  $1.3 \times 10^8$ /ml（13,000万）の試験液0.1mlと比較対象PBSを0.9mlで混合した直後の常用対数値（細胞感染数値）は7.11（1,288万）で、20秒経過後の常用対数値は7.10（1,259万）でした。

#### 試験2

コロナウイルス混濁液  $1.3 \times 10^8$ /ml（13000万）の試験液0.1mlと除菌剤ビエリモを0.1mlで混合し20秒経過後の常用対数値は2.00以下（100以下）になる事を確認した。よって99.999%以下の感染価減少が認められた。



参考資料 試験結果報告書 20KB070271  
（一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター）